

法科大学院の適性試験実施 8/31 受験者は全国で28,340人



▲神田校舎では647人が難関に挑んだ

04年度(平16)開設予定の法科大学院適性試験のうち大学入試センターによる適性試験が8月31日(日)、全国63会場で実施された。志願者は3万1301人、受験者は2万8340人で専修大学会場(神田校舎)では647人が受験した。04年度開設予定の大学は72校で、総定員は5950人。今回の適性試験の倍率は4.76倍となった。

大学入試センターは今回の試験に間に合わなかった人のために11月9日にも特例措

置に伴う追試験を実施する。なお、専修大学の入学者選抜試験は04年1月31日(土)に筆記試験(既修者・未修者)、2月7日(土)に面接試験(既修者・未修者)が行われる。

【ニュース専修9月号1面】

夏のオープンキャンパスに4300人



▲全体説明会場は超満員

▲個別相談の順番を待つ高校生たち

「夏のオープンキャンパス」が猛暑の8月23、24日の両日開催され、昨年を大きく上回る約4300人(父母含む)が神田キャンパスに詰め掛けた。

1号館14・15階の特設会場では、全学部・学科の教員による個別相談が行われ、各コーナーには順番待ちの高校生が多く見られた。別に行った入試問題の解説、大学及び入試に関する説明会場も満員となり、昨年度の入試問題や学部ガイドブック、講義要項などの資料配布コーナーは、目指す学部の資料を収集する入場者で終日、混雑していた。

【ニュース専修9月号1面】

小田急線・向ヶ丘遊園駅 人目を引く大型看板 生田キャンパス最寄駅のイメージははっきり



小田急線・向ヶ丘遊園駅に8月から本学広告看板が新設された。設置場所は上下線ホーム各2カ所(合計4カ所8面)で、大きさは縦60cm×横180cm。天吊り・照明内蔵型で夜間は特に目を引く。ホームだけでなく、車内からも確認できるため、生田キャンパス最寄り駅のイメージが一段と高まった。

【ニュース専修9月号1面】

キャンパス探訪〈11〉アートの旅『Silence』ほか



『Silence』



『Meditation』

生田キャンパス1号館3階ロビーには、井上敦子さん制作の100号の油彩大作2点が飾られる。91年(平3)に校友を通じて寄贈された。

『Silence』(静寂)は、机にうつ伏せてまどろむ、赤いシャツを来た男。壁には伎楽のような、南方の木彫りのような、あるいは女の能面など四つの仮面が配され、赤い花瓶にさされたススキのような植物。朱と緑、それに

壁の白さ。静寂ではあるが、不安定な何かを予感させる一瞬。

もう一つの『Meditation』(黙考)は、ピエロ姿の人物、白と緑のドレスを着た女性と、3人の立像。舞台への出を待つ一瞬のようだ。共に朱、緑、白の3色を基調にする。次に展開される目覚め、舞台という「現実」への「待機」のひとつときであろうか。

【ニュース専修9月号1面】